



伊豆市議会だより

No.68

2021.5.1発行

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

T410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906



(狩野川記念公園 桜)

目次

- 令和3年1月臨時会・3月定例会 2
- 市政を問う ～一般質問～ 8
- 議員研修報告 12



議会ホームページへ

令和3年度予算を審議・可決

令和3年1月臨時会～3月定例会

伊豆市議会は、1月21日に1月臨時会、2月24日～3月22日に3月定例会を開催しました。以下、主な議案と審議の流れを掲載します。

令和3年1月臨時会 令和2年度一般会計補正予算 (第10回)

宗教法人平和寺本山の土砂流出問題について、搬出した土砂等の運搬処分費など3400万円の他、新型コロナウイルス感染症対策として、本庁舎空調設備の換気機能向上のための施設改修費8500万円、ウェブ会議のための環境整備費300万円など、総額1億3300万円を増額する補正予算。

令和3年3月定例会

令和2年度予算

令和2年度一般会計補正予算 (第12回)

中山間地域総合整備事業に係る県営事業負担金1409万円、地籍調査事業の増による国土調査費3321万円などのほか、新型コロナウイルス感染症の影響により減収が見込まれる指定管理施設に対する損失補填金3093万円などを増額する一方、新型コロナウイルス感染症対策事業の精算や、国や県の事業採択が見送られたた

め執行を見送った事業の委託料や工事費を減額し、総額2億6390万円を減額する補正予算。

委員会質疑

総務経済委員会

問 牧之郷駅周辺事業について、用地の関係で全体的なスケジュールの遅れが生じたことの説明を求めらる。

答 伊豆箱根鉄道との用地交渉において、鉄道の運行に関する管理区分の調整と鉄道抵当を外す作業が必要であり、その期間を要するため年度またぎの用地取得になります。令和3年度の工事は農地部の造成を行い、その間に用地の取得を行います。

教育厚生委員会

問 狩野ドーム・グラウンド管理事業における指定管理者への補填金について、73万8千円の算出根拠と補填を行う時期はいつか。

答 令和2年10月から令和3年3月までの各月の収入と支出の差額でマイナスとなった額の合計を補

填金としています。支払いは、議会で可決いただいた後に補填する予定です。

令和3年度予算

令和3年度一般会計予算

歳入については、市税、地方交付税はいずれも減額を見込み、事業実施の財源確保のため、国・県支出金で30億785万円、市債は59億7060万円をそれぞれ予算措置する。

歳出については、次の方針に沿って人口減少の抑制戦略を行うための予算を要求する。

《結婚から子育てまで切れ目のない支援》

婚活イベントの実施など出会いの場の創出に250万円、修善寺東子ども園における受入年齢の引き下げに対する経費として5760万円などを計上し、保護者の社会参加の要望や就労形態の多様化に対応する。

《教育の充実》

新中学校整備事業について、実

施設や用地購入等9億8千万円、一人1台パソコンやICT支援員等の経費として2210万円、通学・就学等支援事業に9100万円などを計上し、教育環境の充実を図る。

《福祉・医療の充実》

中伊豆温泉病院の移転新築に対する補助金として6億円、重度心身障がい者や高齢者に対するバス・タクシー利用助成として2949万円などを計上するほか、福祉相談センターの設置準備として90万円を計上し、包括的相談支援事業の実施を目指す。

《安心・安全なまちづくり》

防災行政無線整備工事に9億500万円、日向地区の防災公園整備費として5千万円、ハザードマップの更新に1310万円など防災に関する事業の他、新リサイクルセンター整備事業に3020万円などを計上し、安心・安全なまちづくりを進める。

《地域の魅力創造》

東京2020大会関連経費とし

て6150万円、文学のふるさと事業として上の家の整備や利活用の支援、旧営林署跡地の公園整備のため8154万円などを計上し、地域の魅力創造に力を入れる。

《未来を切り拓くためのまちづくり》

旧土肥小学校の活用事業として8180万円、牧之郷駅周辺整備事業として1億5800万円などを計上し、まちづくりを進める。

《地域の独立性の維持》

花いっぱい事業430万円、地域づくり協議会が実施する地域の活性化に対する事業への補助金5380万円を計上し、地域の自立の取り組みを支援する。

以上、歳入歳出総額は218億6900万円、前年度より41億2900万円(約23%)が増額され、前年度を大幅に上回る予算となる。

令和3年度一般会計・特別会計・企業会計予算総括表

※1万円未満は切り捨て

会計名	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	比較	
一般会計	218億6900万円	177億4000万円	41億2900万円	
特別会計・企業会計	公共用地取得事業特別会計	1890万円	1725万円	165万円
	国民健康保険特別会計	40億7400万円	42億5100万円	△1億7700万円
	後期高齢者医療特別会計	4億7500万円	4億7300万円	200万円
	介護保険特別会計	37億3700万円	32億7300万円	4億6400万円
	水道事業会計(企業会計)	7億6291万円	7億9111万円	△2820万円
	簡易水道事業会計(企業会計)	2億1533万円	2億3450万円	△1917万円
	温泉事業会計(企業会計)	9058万円	7772万円	1286万円
下水道事業会計(企業会計)	14億6224万円	15億619万円	△4395万円	
7財産区特別会計	872万円	540万円	332万円	

委員会質疑

総務経済委員会

問 市道維持補修事業の地区要望は、毎年同じ要望項目を継続して出さないと後回しにされるのか。
答 毎年400件を超える地区要望がある中で精査して事業を進めているが、区長さんも毎年変わり、職員も異動があるので、その要望が完了するまでお互いの確認の意味でも継続していただきたい。

問 急傾斜地崩壊対策工事に毎年3000万円の予算があるが、あと何年かかるのか。
答 この事業は駿豆学園裏の工事であり、毎年3000万円の事業規模で県に要望しているが、全体の事業費が大きいため、あと5年くらいを見込んでいます。

問 同報系防災行政無線整備工事のスケジュールはどうなっているか。
答 令和3年7月に親局の設置が終わり、9月下旬にはデジタルとアナログの周波数を出し、最終的には令和4年3月末に改修整備を

完了する予定です。

教育厚生委員会

問 児童複合施設整備事業について、バスの待合、適応指導教室など現場のニーズの把握を含め、場所の検討をどのように行ったか。
答 アンケートや使用実態を調べ、小学校周辺で探したところ計画地での検討となりました。

問 清掃センターの焼却施設改修工事で、どのくらいの期間止める予定か。
答 工事期間が最小限となるよう

に施工業者と計画を立て、停止期間中にごみ処理焼却委託をする伊東市などと調整し決定します。

問 重層的支援体制移行準備事業で、自立相談支援事業や一時生活支援事業などいろいろな事業が盛り込まれているが、当初から事業展開していく予定か。
答 令和3年から5年で体制移行準備として各事業のすり合わせを行い、最終的には12事業を実施する重層化に移ります。

条例

伊豆市事務分掌条例の一部改正について

令和3年度からの組織改編に伴い、事務分掌について改正を行うもの。

具体的には、令和3年度から「危機管理課」が設置され、危機管理及び防災に関することを担当する。

また、総合政策部の事務に、予算その他財務に関することと情報化の推進に関することが加わる。

討論

賛成討論

この条例改正は、職員がより働きやすくすることが主眼で、総合政策部に予算を持たせることで調整機能をより強化することや、市長直轄となる危機管理課については、大災害が懸念される近年の状況の中、即断即決で迅速・的確に危機事案に対処できる組織として、その役割に期待します。

(杉山誠 議員)

伊豆市伊豆の国市外1組合公平委

伊豆市交通指導員設置条例の廃止について

条例で規定している交通指導員を非常勤職員から有償ボランティアとして位置付けるため、条例を廃止するもの。

伊豆市土肥港駐車場条例の制定について

土肥港に隣接する市浄化センターの一部を活用して駐車場を設置するために必要な条例の制定を行うもの。

委員会質疑

総務経済委員会

問 土肥港駐車場の料金を無料にした理由の説明を求めます。

答 有料も検討しましたが、市民の利便性と駿河湾フェリーの利用促進を目的とした整備であり、結果的に無料という判断をいたしました。

人事

討論

賛成討論

前年度より41億2900万円増額、歳入歳出の総額218億6900万円。今回の増額の大きな要因は、新ゴミ処理場建設や新中学校建設など大型事業が控えている為です。今後の伊豆市の抱える問題解決の為、市民の利便性を維持し、将来を担う次世代の為に、公共施設適正化を図り、将来的な歳出抑制の為の大事な予算であると考えます。また、歳入の確保の一つに、ふるさと納税促進事業があります。しっかりと結果が出せるようお願いいたします。徹底した歳出の抑制として、合併特例債などの有利な市債を活用し、市民負担が少なくなる努力をしていると説明があり、現在の市の財政と今後を見通した予算であると賛成討論をさせていただきます。

(波多野靖明 議員)

賛成討論

令和3年度一般会計予算は前年比23%増の積極予算。重点的内容

委員会委員の選任について

伊豆市伊豆の国市外1組合公平委員会委員に、勝呂 信正氏を選任することに同意した。

伊豆市教育委員会委員の任命について

伊豆市教育委員会委員に、梅原一仁氏を任命することに同意した。

その他

財産の無償貸付について

平成29年度に閉校となった旧土肥小学校について、民間貸付の公募を実施し、審査した結果、中古OA・IT機器のリユース事業者「リングロー株式会社」を契約対象者として選定し、無償貸付を行うことについて議決を求めめる議案。

討論

賛成討論

閉校となった旧土肥小学校については、土肥地区における大きな

は、新型コロナ対応に加え、合併による優遇制度が終了する令和7年度以降も安定した市政運営が維持できるように、本格的な人口減少社会の到来を見据えた対応や財務体制強化に取り組むもの。

伊豆市は合併以来、旧4町時代からの古い公共施設の数が多く全国でもワーストに近い。それらを半分程度にする取り組みの途中でもある。今回、市の組織を改編し、従来の縦割りから全庁横断的な行政を目指す。人口減少の抑制と適応、歳入の安定的確保と歳出の徹底した抑制、地域の課題には今まで以上に取り組み、持続可能な市政運営を実現させることを期待する。

(青木靖 議員)

令和3年度一般会計補正予算(第1回)

新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少する中、市内宿泊施設の利用促進による市内経済の活性化などを目的に、市民限定宿泊割引事業を実施するための費用1605万円を増額する補正予算。

拠点のひとつです。

今後の活用について、地域と行政が一体となって利活用していくことや、使用可能な部分は使いながら活用していくことが望ましいとのアンケート結果を得ました。「旧土肥小学校活用構想検討協議会」を設立し検討を進めてきました。

「防災」「健康づくり」「交流拠点」「スポーツ」「外部企業による活用」の五つの方向性を定め、その実現に向けた考え方を「旧土肥小学校利活用構想」としてまとめました。市が所有権を持ったうえで、地域利用を適切に確保しつつ民間事業の参入を得る「貸付」が適しているとの判断になりました。

令和2年11月に行われた選定委員会による審査の結果「リングロー株式会社」が契約候補者として選定されました。

旧土肥小学校は、「リングロー株式会社」管理の下、地域開放、地域専有、「リングロー」専有などで様々な活用が期待され企業管理の下の地域の賑わいの創出のあらたな場所となります。

(浅田藤二 議員)

令和3年1月臨時会で審議した議案

件名	賛否	審議結果
予 算 令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第10回)	全会一致	可決

令和3年3月定例会で審議した議案等

件名	賛否	審議結果
専決処分の報告及びその承認について(令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第11回))	全会一致	承認
令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第12回)	全会一致	可決
令和2年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	全会一致	可決
令和2年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第3回)	全会一致	可決
令和2年度伊豆市下水道事業会計補正予算(第2回)	全会一致	可決
令和3年度伊豆市一般会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市公共用地取得事業特別会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市国民健康保険特別会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市介護保険特別会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市水道事業会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市簡易水道事業会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市温泉事業会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市下水道事業会計予算	全会一致	可決
令和3年度伊豆市7財産区特別会計予算(※)	全会一致	可決
令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第13回)	全会一致	可決
令和3年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)	全会一致	可決
伊豆市事務分掌条例の一部改正について	全会一致	可決
伊豆市職員の給与に関する条例の一部改正について	全会一致	可決
伊豆市職員定数条例の一部改正について	全会一致	可決
伊豆市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	全会一致	可決
伊豆市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について	全会一致	可決
条例の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致	可決
伊豆市交通指導員設置条例の廃止について	全会一致	可決
伊豆市新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例の制定について	全会一致	可決
伊豆市土肥港駐車場条例の制定について	全会一致	可決
伊豆市特定用途制限地域に関する条例の一部改正について	全会一致	可決
伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について	全会一致	可決
新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致	可決
伊豆市介護保険条例の一部改正について	全会一致	可決
指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	全会一致	可決
伊豆市伊豆の国市外1組合公平委員会委員の選任について	全会一致	同意
伊豆市教育委員会委員の任命について	全会一致	同意
財産の無償貸付について	全会一致	可決
伊豆市議会基本条例の一部改正について	全会一致	可決
伊豆市議会会議規則の一部改正について	全会一致	可決
専決処分の追加指定について	全会一致	可決
諮問 人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致	適任

議長(小長谷順二)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
 ※ 7財産区…持越、市山、門野原、吉奈、月ヶ瀬、田沢、矢熊

議員発議

発議第1号

伊豆市議会基本条例の一部改正について
 基本条例の第5条、第8条及び第21条に、条例中に引用している他の条例番号の記載漏れを追加するもの。

追加される記載(傍線部分)

伊豆市議会基本条例(委員会の活動)
 第5条
 4 委員会に関しては、別に伊豆市議会委員会条例(平成16年伊豆市条例第189号)で定める。
 (政治倫理)
 第8条
 2 政治倫理に関しては、別に伊豆市議会議員政治倫理条例(平成25年伊豆市条例第15号)で定める。
 (議員定数)
 第21条
 2 議員定数は、別に伊豆市議会の議員の定数を定める条例(平成19年伊豆市条例第28

発議第2号

伊豆市議会会議規則の一部改正について
 現在、議員及び関係者に配布する会議録を印刷したものに限定している規定を、電子データでの配布も可能とする改正を行なうもので、第86条に規定している「印刷して、」を削除する改正。

改正前
 会議録は、印刷して、議員及び関係者に配布する。
 改正後
 会議録は、議員及び関係者に配布する。(傍線部分の削除)

号)で定める。

発議第3号

専決処分の追加指定について

地方自治法第180条第1項に規定する「普通地方公共団体の議会の権限に属する軽易な事項で、その議決により特に指定したものは、普通地方公共団体の長において、これを専決処分にすることが

できる。」により既に指定している3項目に、新たな項目を追加するもの。

追加項目1

一部事務組合を組織する団体の増減及び名称に係る規約変更は、構成団体の議会の議決を要するとされていることに関し、その一部事務組合を「静岡県市町総合事務組合」に限定したうえで、組合を組織する団体の増減及び名称に係る規約変更を市長専決事項とするもので、過去、この様な議案が提案されたが、伊豆市議会が関与する余地が無く採決を行ってきたため、市長の専決事項に追加する。

追加項目2

伊豆市の条例で引用している法律等が改正や廃止された場合に、その法令の題名や条項番号、用語を修正する一部改正条例を追加する。

追加項目3

議会の承認を得た契約の変更をする場合、その変更契約も議会承認が必要とされている。このこと

は、議会で承認を得るまでは、変更部分の工事等に着手することができず、工事を止めることが発生するなどの工程管理上の問題や、建築工事では工期が伸びることで費用が増える等の悪影響もある。そこで、変更契約の議会承認を市長の専決事項に追加する。

追加項目1と2については、法律等の上位法の改正に伴う議案で、伊豆市議会及び執行部が判断する余地の無い内容であり、議会内での審議を要しないものと判断できることから、3については、市民生活に必要な工事等が遅滞なく実施される効果が大きいと考えられることから、以上の3項目を追加する。

議員発議とは
 ・議員から議案を提案すること。
 ・専決処分とは
 緊急の場合などに、議会の議決が必要な事について、市長が代わって決定すること。

市政を問う

～一般質問～



録画配信のQRコード

3月定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)
新型コロナ対策のため、議場内では、アクリル板を設置しています。

質問

将来世代に継承する共生社会の実現のために



(鈴木正人 議員)

東京2020大会の「レガシー(遺産)」として、男女共同参画社会の更なる推進や、あらゆる人権の尊重と多様性を受け入れて尊重する「共生社会」を実現し、将来世代に継承するため、今から、これらの理念を包括的に規定する条例の制定に取り組み考えはあるのか、市長にその見解を伺います。

産業部長 答弁

条例制定も一選択肢として進めてまいります

多様性を受け入れて尊重する共生社会の実現の必要性が、この東京2020大会の開催によって、さらに高まってきていると認識しております。

今後東京2020大会の開催を契機として、改めて多様性と調和の重要性を認識し、包括的な理念を規定した条例の制定も一つの選択肢として、様々な観点から、共生社会の実現に向けた取組を進めていきたいと考えております。

質問

コロナ禍の伊豆市の財政の課題を問う



(杉山武司 議員)

新型コロナウイルス感染症の影響で、税収不足により現行の伊豆市の財政シミュレーションでは将来的な財政収支の傾向や財政的な特徴を示すには厳しいものがあります。
財政調整基金は減少し、将来への影響が懸念されます。財政の危機管理の把握と財政シミュレーションの再見直しを念頭に、将来の伊豆市の目指す財政の姿を示して頂きたい。

市長 答弁

持続可能な経営体質の準備を進めます

当市では、令和3年度はコロナ禍の影響により歳入が大幅に減少する一方、新市建設計画に基づく重要事業が本格化します。また、令和3年度以降には、財政調整基金の残高が遞減するとともに、合併特例債の借入期限を令和6年度に迎えることなど市の財政状況は非常に厳しくなるものと予測しています。
それに対応するためには、「令和6年度以降も持続可能な財政運営ができる経営体質」が必要であると考え、今から準備を進めてまいります。

質問

新ごみ処理施設の稼働に向けて



(黒須淳美 議員)

令和4年12月に完成予定の新ごみ処理施設について、運用によって得られる市民生活の向上やメリットは何でしょうか。

また、市民への広報を定期的に実施する予定はありますか。
更に、旧施設を新リサイクルセンターとする計画が進められています。市民の意見や要望を取り入れることはできますか。

市長 答弁

できる限り意見・要望を反映させていただきます

環境保全に配慮した安全安心な施設が整備され、地域に開かれた施設として運営されることにより、完成後は市民生活の向上につながるかと考えております。

廃棄物処理施設組合におきまして組合広報誌の発行、ホームページへの掲載を行い、市民へ情報を提供していくと伺っております。柏久保区からは、騒音対策や進入路の改良などの意見や要望をいただいたところであり、新リサイクルセンターの整備にもできる限り反映をさせていただきます。

質問

新型コロナウイルスの対応について



(鈴木優治 議員)

感染収束の決め手となるワクチン接種、先行接種が始まり優先接種、4月からは65歳以上の接種も計画される中行政の役割が問われていると思います。質問いたします。

① 行政の首長として市民の不安を払拭するためにステートメント(声明)を出すつもりはありませんか。
② 今日現在想定されるワクチン接種のロードマップをお示しください。

市長 答弁

5月の接種開始に向けて体制を確保します

① 安心して接種を受けていただくために、集団接種当日の流れや留意事項をまとめたリーフレットを全戸配布いたしました。
接種を受ける際の不安の払拭や、誤った情報により接種を躊躇することのないよう進めていきたいと考えております。
② 市民文化ホールを会場とした集団接種により、5月のゴールデンウィーク明けの接種の開始に向けて検討を進めております。
接種から接種後の副反応への対応まで、万全の体制を確保していきたいと考えております。

質問

公共施設再配置推進は市民全体の意見反映を!!



(三田忠男 議員)

4町合併後、伊豆市が将来に渡り、持続可能な市民生活の安定的な暮らしを守るためには伊豆市を取り巻く様々な環境への適応がないと成り立たないと考えます。

これまで公共施設再配置策定目的、当事者のみならず市民全体の意見が反映できる体制の確保、市民全体への周知方法はどうしてきましたか。また、今後の推進の取り組み方を伺います。

総務部長 答弁

アンケートや意見箱の設置などを行いました

公共施設の最適化の取り組みとして、これまで公共施設等総合管理計画と公共施設再配置基本方針の策定を進めてまいりました。それらの取り組みでは、有識者等で組織する検討委員会を設置し意見を伺うとともに、市民アンケートや意見箱の設置などにより市民の皆様の意見集約も行いました。

公共施設の再配置の取り組みは避けて通れない課題ですので、市民の皆様への丁寧な説明に努め、ご理解をいただけるよう努力してまいります。

質問 牧之郷地区計画の進捗状況について



(飯田大 議員)

「牧之郷地区計画」が決定され2年が経過しました。この計画の特徴は行政・住民・事業者との連携型まちづくり基本構想です。この構想が決定した後、牧之郷駅周辺では新居住宅での市民生活を送れている一方、駅周辺での開発事業の動きは見られません。

牧之郷駅前広場、生活道路整備事業について状況と構想を伺います。
地区内沿道などを広げていくか伺います。

建設部長 答 弁 駅周辺工事により民間開発も動くと考えております

牧之郷駅前広場整備については今年度測量や設計業務が完了し、事業用地の取得も概ね完了しました。牧之郷駅前広場の整備と合わせ、南北をつなぐ生活道路を公共事業で整備し、南側の農地は民間開発により基盤整備を進めてもらう考えです。

市では構想実現のため、地区計画や補助金制度などを開発業者等に周知してきました。今後、駅周辺工事が始まれば民間開発も動くと考えておりますので、今後も定住促進に向けた情報発信を推進したいと考えています。

質問 学校のトイレの全個室化について



(波多野靖明 議員)

昔から男子トイレは小便秘と個室があるのが大半。個室を利用していると、友人にからかわれたりするのを嫌がり、学校では我慢する子どももいると聞いています。また、男子トイレを全個室化する事により、自己の性に悩む方にも安心して使用できるようになるのではないのでしょうか。まずは、新中学校のトイレ、そして、ゆくゆくは既存の学校のトイレの検討も必要ではないでしょうか。

教育部長 答 弁 検討していかねばならない課題です

男子トイレの個室化については、しっかりと検討していかねばならないと認識しております。実際に完全個室化した学校もありますが、掃除が大変などの課題も報告されています。今後、トイレをいかに使いやすく感じる問題解消のため、設置に向けて検討していきます。また、自己の性に悩む方への配慮も、大切な視点ですので、全てとは言えませんが、新中学校の計画でも個室化を含め、検討を進めていきたいと考えています。

質問 LGBTなどの性的少数者への理解促進を



(杉山誠 議員)

私たちの社会には性別は男か女、恋愛対象は異性が普通であり、それ以外は普通ではないとする考えが根深くあります。

性的少数者の「生きづらい」社会を革新し、幸せに暮らす権利が尊重されるよう、理解促進のための啓発や相談体制、性的少数者のカテゴリーを公認する自治体パートナーシップ制度の導入などを進めてはいかでしょうか。

政策部長 答 弁 来年度に市民への意識調査を実施します

性的少数者の方にとって、生きづらさについて相談できる体制を構築するため、福祉相談センターを設置いたします。従来は、性的少数者の相談について、家庭児童相談室、社会福祉課及び人権擁護委員等に対応できるようになっていましたが、今後は、ワンストップ型で相談を受けられるようにしていきます。

なお、パートナーシップ制度の導入については、来年度に市民への意識調査を実施し、その結果などを踏まえて、今後の方向性について検討したいと考えております。

質問 今回の組織改編による地区要望への対応



(浅田藤二 議員)

各地区の区長様から提出される要望事項は、まさに地域の声といえます。この要望事項に丁寧に対応していくことはたいへん重要なことだと考えます。要望事項の対応についても今回の組織改編により、どのように変わりますか。

政策部長 答 弁 地域づくり課が地域との橋渡し役を担います

地区要望については、まさに地域の声と言えると思いますが、市内の120を超えるそれぞれの行政区からの地区要望に全て対応することは難しいと思われまます。次年度以降は、地域づくり課が組織されますので、地域づくり課が事業担当課とうまく調整し、地域との橋渡し役を担えるようにしたいと考えております。地区要望をしっかりと聞き、予算の範囲で最大限対応しつつ、地域づくり協議会も含めたまちづくりを推進していきたいと心がけていきます。

質問 修善寺老人憩の家



(星谷和馬 議員)

近年、高齢化が進み医療・介護費が膨らみ財政の負担増に繋がっております。社会環境等の変化により、うつ、認知症の方も大変増えております。この入浴施設は、健康を保つ福祉の増進事業であり重要度は増しております。

①廃止する理由
②将来の施設運営について伺います。

健康福祉部長 答 弁 安全面やサービスの提供が担保できません

築47年を経過する施設で、ボイラーやポンプなどの故障による臨時休業や、平成31年1月にはレジオネラ菌も発生しており、今後は、老朽化した設備等の修繕が必要になります。多額の費用がかかることが予想されます。現状では公共施設としての安全面や安定したサービスの提供が担保できない状況であることから、令和3年4月から入浴施設につきましては一時休館した上で、今後とも市民の皆様との話し合いを進めていきたいと考えております。

6月定例会の予定

場所	本庁2階 議場
時間	午前9時30分
5月31日(月)	議案上程
6月2日(水)	一般質問
3日(木)	一般質問
4日(金)	一般質問
11日(金)	議案質疑・委員会付託
24日(木)	委員長報告・質疑・討論採決

委員会の予定

場所	本庁2階 議場
時間	午前9時30分
6月14日(月)	総務経済委員会
6月15日(火)	教育厚生委員会

※変更となる場合があります。ご了承ください。

議会傍聴・視聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴することができますが、現在、感染症対策のため傍聴席へ入る人数を制限しています。傍聴を希望される方が10名を超える場合は、別室で中継映像による傍聴となります。

本会議は、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。ぜひご覧ください。

傍聴に関するお問合せ

(議会事務局) 0558-72-0000

議員研修

* 議会改革と議会運営
・ 議会の作動について *

受講内容

- 《午前の部》
- ① 地方議会をめぐる危機と打開の視点
 - ② 議会改革の現在
 - ③ 質疑・質問の充実強化
- 《午後の部》
- ① 議会改革の本史・議会からの政策サイクル
 - ② 本丸にかかわる議会・議員
 - ③ 議員による政策財務の勘所
 - ④ 条件整備
 - ⑤ 新たな課題・議論を巻き起こす首長とともに

講師・山梨学院大学法学部
江藤 俊昭 教授



去る2月15日、議会は山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授を招き、会派合同研修を開催しました。特に印象的であったのが、「二元代表制」についてのお話です。住民と歩む議会、追認機関ではなく首長と政策競争をする議会になるようにと学びました。

研修の最後には、質疑応答として、議会報告のあり方、議員定数、報酬について等の議論を行いました。市民の皆様に関われた議会、皆様のご意見をもとに政策提言をする議会を目指してまいります。

* 手話を学ぶ *

2月18日、議会は手話講習会を開催し、全議員が参加しました。市は、2019年12月に「伊豆市民が共に歩む手話言語条例」を制定しました。市議が率先して手話を学び、市民への普及に役立てることを目的に企画しました。市民に認められ、しっかり手話を勉強し、少しずつ覚えて、周囲に広げてまいります。

講師・伊豆市聴覚障害者協会
森島 工 氏



手話講習の様子 (伊豆日日新聞掲載)

編集後記



平成16年の合併から伊豆市はこの4月で17歳となりました。大きな課題である人口減少は元より、令和に入ってからコロナ禍における市民生活を守る対策等、正に今手を打つべき施策が今回の3月定例会で審議・可決されました。

また多様性を受け入れ地域共生を目指して議員発議で制定された「伊豆市民が共に歩む手話言語条例」の実践として議員の手話講座の様子も掲載しました。

コロナ禍のトンネルの先にも灯りが見えています。もう一踏ん張り、気を引き締めていきましょう。

議会広報副委員長 黒須 淳美